

日本アートマネジメント学会 第13回全国大会

2011年11月19日(土)・20日(日)
静岡文化芸術大学

<プログラム>

11月19日(土) 会場：イベントごとに異なりますのでご注意ください。	備考
10:00～11:30 研究フォーラム 「技術、産業、芸術創造 ～そのスパイラルな関係～」 (会場：静岡文化芸術大学 378中講義室)	無料
11:30～13:30 浜松市楽器博物館(アクトシティ浜松)見学 & 昼休み	要入場料
13:30～17:30 世界創造都市フォーラム2011 in 浜松 「音楽創造都市への発展～ユネスコ・ネットワークと共に～」 (会場：アクトシティ浜松コングレスセンター41会議室)	無料
18:00～20:00 日本アートマネジメント学会懇親会 (会場：S-TABLE)	要参加費
11月20日(日) 会場：静岡文化芸術大学 受付：379中講義室	
9:30～11:30 分科会Ⅰ	要参加費
11:30～12:50 昼休み (代表会：377中講義室)	
12:50～15:00 会長挨拶／シンポジウム 「芸術と資金をめぐる現状と課題／財務・助成・寄付」 (278大講義室)	無料
15:15～17:15 分科会Ⅱ	要参加費
17:20～18:00 まとめセッション・部会報告・閉会式 (278大講義室)	要参加費

※静岡文化芸術大学の会場はすべて3階です。278講義室は2階と3階から入れます。

■本部受付は、両日とも379中講義室(3階)です。

参加費：会員2,000円、非会員3,000円、学生(会員・非会員とも)1,000円

研究フォーラム・世界創造都市フォーラム・シンポジウムのみの参加者は無料

楽器博物館見学320円、懇親会 一般5,000円、学生3,000円

※大会予稿集は有料参加者(分科会参加者)のみへの配布となります。

■申し込み方法

申し込みフォームに必要事項をご記入の上、電子メール、FAX、郵送にて全国大会実行委員会事務局までお申し込みください。

申し込みフォームは日本アートマネジメント学会のWebサイトでダウンロードできます。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaam/>

当フォームでお申し込みいただければ19日午後の世界創造都市フォーラム2011 in 浜松についての、世界創造都市フォーラム事務局への申し込みは不要です。

<お申し込み先>

日本アートマネジメント学会2011年度全国大会実行委員会

430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1 静岡文化芸術大学片山泰輔研究室内

Phone 053-457-6186 (研究室直通) FAX 053-457-6132 (学部事務局)

電子メール info-tk@suac.jp

担当：全国大会実行委員会事務局長 石川緋名子(静岡文化芸術大学大学院)

■ ご挨拶

日本アートマネジメント学会では設立以来、学会運営は各地域ごとの部会を中心に行なわれてきました。毎年秋に行なわれる全国大会についても各部会の持ち回りで実施されてきましたが、本年度は、近年の環境変化をふまえ、従来の部会持ち回りではなく、全体事務局のもとに部会横断的な実行委員会を組織し、運営することになりました。新体制で行なわれる第13回全国大会は、静岡県浜松市の静岡文化芸術大学で開催されます。当日は、同市内において世界創造都市フォーラム（主催：浜松市 他）をはじめとするイベントが開催されることになっており、学会としてもこれらイベントと連携することで充実した大会を目指します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日本アートマネジメント学会
2011年度全国大会実行委員長
片山泰輔（静岡文化芸術大学文化政策学部教授）

授)

■ 研究フォーラム

「技術、産業、芸術創造 ～そのスパイラルな関係～」

11月19日（土）10:00～11:30

静岡文化芸術大学 378中講義室

<趣旨>

音楽創造は芸術家の個人的な内面の衝動や苦悩などから生まれるだけではなく、技術革新が楽器と楽器産業の発達を生み出し、楽器の発達が音楽家を新たな創造に向かわせ、音楽家が高度な表現のためにさらに新しい楽器を求めた、という側面がある。このフォーラムでは、モーツァルトから初音ミクに至る、音楽創造におけるこのスパイラルな関係を解明するとともに、楽器産業が発達した浜松市が音楽創造の拠点になっていくことができるかどうかを議論する。終了後は竹内明彦氏の解説で浜松市楽器博物館を見学する。

- ・パネリスト 剣持秀紀（ヤマハ株式会社研究開発センター音声グループマネージャ ※）
- 竹内明彦（※）
- 平野 昭（慶應義塾大学文学部教授）
- ・コーディネーター 桧森隆一（嘉悦大学副学長）

※剣持秀紀氏プロフィール

ヤマハ株式会社でボーカロイド（初音ミクなどの音声合成エンジン）の開発責任者を務めるかたわら、アマチュア弦楽四重奏団やオーケストラでヴァイオリンとビオラを演奏する。

※竹内明彦氏プロフィール

慶應義塾大学工学部卒業後ヤマハ㈱に勤務、管楽器等の設計、研究開発に従事。ウィーンフィルの管楽器復元製造に貢献。その後音楽企画プロジェクトプロデューサーとして、公共ホールの等のコンサート、イベントやCDプロデュースに従事。現在、2007年同社定年退社。浜松市楽器博物館展示企画アドバイザー、2009年より大阪芸術大学非常勤講師。著書：「新しい楽器楽体系（全5巻）1991年（共著）など

■ 浜松市楽器博物館見学

11月19日（土）昼

研究フォーラム終了後、アクトシティ内の浜松市楽器博物館まで移動し、研究フォーラムのパネリストのトークをまじえて見学します。入場料（320円）が必要となります。

■世界創造都市フォーラム 2011 in 浜松 「音楽創造都市への発展～ユネスコ・ネットワークと共に～」

11月19日（土）13：30～17：30

会場：アクトシティ浜松コンgresセンター41会議室

主催：浜松市、静岡国際オペラコンクール実行委員会

後援：文化庁

協力：NPO法人都市文化創造機構、大阪市立大学都市研究プラザ

日本アートマネジメント学会、一般社団法人浜松創造都市協議会

13:30 あいさつ（浜松市長、文化庁長官）

13:50 ユネスコ音楽創造都市の事例発表

Mauro Felicori（ボローニャ市 文化・美術館局長）

Svend Brown（グラスゴー市 ユネスコ音楽都市ディレクター）

14:50 パネルディスカッション1「音楽と創造都市」

Mauro Felicori（ボローニャ市 文化・美術館局長）

Svend Brown（グラスゴー市 ユネスコ音楽都市ディレクター）

花 健（上海社会科学院教授・文化産業研究センター長）

山崎泰啓（浜松市副市長）

コーディネーター：根本敏行（静岡文化芸術大学教授）

16:10 パネルディスカッション2「市民・企業・行政の連携と創造都市」

Mauro Felicori（ボローニャ市 文化・美術館局長）

Svend Brown（グラスゴー市 ユネスコ音楽都市ディレクター）

片山泰輔（静岡文化芸術大学教授・浜松創造都市協議会代表理事）

コーディネーター：根本敏行（静岡文化芸術大学教授）

17:20 アジェンダの採択・閉会のあいさつ

※このあと、世界創造都市フォーラム&政策セミナー共催の懇親会がアクトシティ浜松コンgresセンター内で行なわれます（日本アートマネジメント学会の懇親会は別会場で行なわれます）。また、11月20日（日）午前には、文化庁・文化芸術創造都市推進事業「平成23年度創造都市政策セミナー」（主催：文化庁、NPO法人都市文化創造機構）がアクトシティ浜松コンgresセンター41会議室で行なわれます。これらについては、それぞれの主催者までおたずねください。

■懇親会

11月19日（土）18：00～20：00

S-TABLE カフェ・エステーブル

浜松市中区中央1-18-4 ウィステリアピーク1F 電話 053-450-7701

参加費：一般5,000円、学生3,000円

※世界創造都市フォーラムの懇親会とは別に行ないますのでご注意ください。

■分科会 I 11月20日(日) 9:30~11:30

分科会 I-1 芸術受容 9:30~11:30

座長：中尾知彦（関西部会：静岡文化芸術大学）

展示施設における芸術消費の向上に向けた入館者行動研究の試み

～入館者調査とアイカメラによる鑑賞行動のモニタリングから～

安藤美奈（関東部会：東京藝術大学大学院美術研究科リサーチセンター）

（共同研究者：橋本幸子）

病院における音楽アウトリーチの事例報告

三木隆二郎（関東部会：NPO トリトン・アーツ・ネットワーク 理事）

「生きる力」を育むワークショップ型授業の実現に向けての課題

～芸術教育に関する小学校教員の全国調査の結果をもとに～

福嶋成美（関東部会：浜松市文化振興財団）

分科会 I-2 ホール運営 9:30~11:30

座長：藤井 克（中部部会：世界劇場会議名古屋）

台湾の公立文化ホールにおける市民ボランティアの高度化

～日本の先進事例との比較をもとに～

陳 浚淨（関東部会：静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科）

神戸市立灘区民ホールからの現場報告 ～現状と課題～

上野英則（関西部会：神戸市立灘区民ホール）

九州大学ホールマネジメント育成ユニットの展開とその役割

芦川紀子（九州部会：九州大学大学院芸術工学研究院）

分科会 I-3 参加と創造 10:10~11:30

座長：椎原伸博（関東部会：実践女子大学）

共創活動で創られるコンテンツの認知状況と聖地の共創

池田拓生（関東部会：首都大学東京大学院都市環境科学研究科観光科学域）

地域を題材とする英語表現ワークショップの実践と評価-Cool Kumamoto Project- 後藤隆昭

（九州部会：熊本大学）

■シンポジウム

「芸術と資金をめぐる現状と課題／財務・助成・寄付」

11月20日（日）13：00～15：00

静岡文化芸術大学 278大講義室

<趣旨>

未曾有の財政難、景気低迷、東日本大震災、NPO法改正に伴う寄付金税制対象の拡大などにより、<アートとお金の関係>は新たな局面を迎えつつある。今回は財務管理、助成・寄付に焦点を絞り、政府、文化団体、自治体文化財団それぞれの立場から語り合い聴衆に新たな視点を提供したいと考えた。財務管理に関しては、ゼロ金利政策や円高のなか、中央政府の芸術文化振興基金あるいは自治体財団の基金はどのように資産運用されているのか、などを知りたい。財務をめぐり民間文化団体の自律性は機能しているのだろうか。助成や寄付については、公的資金を助成する文化庁の見解、助成や寄付を受ける側の現場報告を聞く。自治体支援から離れた交響楽団の場合から新たな示唆を得ることが期待される。

- ・パネリスト： 清水 功（文化庁支援推進室長）
野崎明宏（日本センチュリー交響楽団事務局長）
三戸俊徳（宝塚ソリオホール館長）
- ・コーディネーター 松本茂章（静岡文化芸術大学教授）

■分科会Ⅱ 11月20日（日）15：15～17：15

分科会Ⅱ-1 芸術支援 15：15～17：15

座長：小林真理（関東部会：東京大学）

日本における文化運用のアーキタイプ（原型）とアート・マネジメント
～位相とフレームの異同についての考察～
美山良夫（関東部会：慶應義塾大学）

ナチズムとアートマネジメント～歴史的な負の例からいかなる教訓を得られるのか～
穴山朝子（関東部会：お茶の水女子大学）

台湾・日本の舞台芸術運営に対する助成制度の比較
呉 繼榮（関東部会：静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科）

分科会Ⅱ-2 アートプロジェクト 15：15～17：15

座長：野田邦弘（関西部会：鳥取大学）

野外展における場所の日常性と非日常性に関する研究
～中之条ビエンナーレをケーススタディとして～
日下智紀（関東部会：早稲田大学大学院文学研究科表象・メディア論コース）

2011年「佐賀町アーカイブ」の試みに見る現代美術の歴史性と現在性についての検証
～現在進行形のアートアーカイブの新たな創造的役割について考える～
久木元 拓（関東部会：特定非営利活動法人アート・ミーティング・ポイント 理事）

アートプロジェクトとその権力性～2つの歓待、その「裂け目」を模索すること～

長津結一郎（関東部会：東京藝術大学大学院）

分科会Ⅱ－3 自治体と芸術文化 15：55～17：15

座長：志賀野桂一（東北部会：東北文化学園大学）

非PR型映画と自治体との関係について

井出 明（関西部会：追手門学院大学）

公立劇場と地域社会～財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）の現状と課題～

松本茂章（関西部会：静岡文化芸術大学）

■アクセス



■JR 東海道本線 浜松駅北口から徒歩 15 分

■バスをご利用の場合

◇遠鉄バス（10分間隔で運行しています）

浜松駅北口バスターミナル10番のりば

（ただし、系統番号70番「子安・笠井」行きを除く）

バス停「文化芸術大学」下車

◇浜松市循環まちバス く・る・る（浜松駅10時7分始発、15分間隔で運行しています）

浜松駅北口バスターミナル12番のりば「まちなか東ループ」

バス停「文化芸大」下車

※大学から浜松駅へ向かうときは、「まちなか西ループ」にお乗りください